

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国の研究開発評価の総合的推進		担当部局	科学技術・学術政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度・平成22年度		担当課室	科学技術・学術戦略官付(調査・評価担当)		科学技術・学術戦略官 (調査・評価担当) 行松泰弘	
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術システム改革の先導			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 国の研究開発評価に関する大綱的指針 (平成20年10月内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	研究開発機関や大学等における研究開発評価システムの改革を支援し、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」(以下「指針等」という。)等に沿った適切な評価の実施を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究開発機関や大学等における研究開発評価システムの改革に資するよう、ヒアリング調査により研究開発評価の最新状況の把握及び課題の抽出を行うとともに、研究開発評価に関する実例集や報告書を作成し、大学等へ配布する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	当初予算	2.8	2.6	2.6	-	-	
	補正予算	0	0	0	-	-	
	繰越し等	0	0	0	-	-	
	計	2.8	2.6	2.6	-	-	
	執行額	2.3	1.4	1.1	-	-	
執行率 (%)	83.7%	53.2%	41.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	本事業は、大学及び研究機関等の研究開発評価の実施状況の把握、特色ある研究開発評価事例の調査等の実施及びこれらの成果をまとめた実例集や報告書の普及により、各機関等における研究開発評価システムの改革を支援するものであり、これらの成果の活用については、各機関等の規模や特性に応じて状況が異なるため、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研究開発評価に関する実例集や報告書等の作成及び大学等への配布		活動実績 (当初見込み) 配付機関数	67	72	76 (70)	-
単位当たりコスト	13,820(円／機関)		算出根拠	単位当たりコスト=執行額(1,050,335円)/報告書の発行機関数(76機関)			
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予 算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
				平成22年度限りの経費			
	計						

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・状況・予算の 現状	<input type="radio"/>	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	<input type="radio"/>	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	<input type="radio"/>	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	<input type="radio"/>	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	<input type="radio"/>	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	<input type="radio"/>	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	<input type="radio"/>	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	<input type="radio"/>	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	<input type="radio"/>	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、平成22年度限りで本事業をいったん廃止し、平成23年度予算においては他事業の「専門的知見に基づく研究開発評価環境の整備」と整理統合した。			
予算監視・効率化チームの所見				
	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

A 文部科学省
1. 1百万円

府費 0.7百万円
職員旅費 0.3百万円

} を含む

文部科学省評価指針のフォローアップ
の一環として、大学等における研究開発
評価活動についてヒアリングを行い実例
集として取りまとめ、各機関に配布及び
HPに掲載し、情報の共有を図る。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を行
っているか
について補足
する) (单
位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	研究開発評価の実例集印刷費	0.7			
職員旅費	大学へのヒアリング調査等に係る旅費	0.3			
計		1.1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてプロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)